

## 平成30年度 第2回（震災後88回）

テーマ：「移動（外出）が人を元気にする」

日時：平成30年10月19日（金） 13:30～15:30

場所：陸前高田市コミュニティホール 大会議室

参加：28名12団体

資料：別紙参照

### 1 開会

### 2 挨拶（陸前高田市 民生部次長兼保健課長 千葉 恭一）

本日は「移動（外出）が人を元気にする」をテーマとして、まちづくり戦略室から「市内の移動を支えるための施策について」と村上さんから「矢の浦地区の移動図書館の活動について」、グループワークなど盛り沢山な内容となっている。様々な分野の方々と「はまかだ」していただきたい。

### 3 内容

#### (1) 「未来図会議／本日のテーマについて」

陸前高田市 民生部保健課保健係 保健師 佐藤 沙希

「未来図会議は健康や幸せを感じられるまちづくりの実現に向けて議論する場である。様々な分野でより良いまちづくりのために進めていくことが幸せを感じられる、ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくりにも繋がる。分野を超えて互いを認め合ってアドバイスやヒントを共有し、健康や幸せを感じられるまちづくりの実現に向けて「はまかだ」ができる場にしていきたい。

陸前高田市まちづくり協働センター 黄川田 美和 氏

生活支援コーディネーターをしている。行きたい場所に行くと人に会って、話ができないと地域の方から声が上がっている。集まる場所へはまること、行くことができない。陸前高田市どこでも同じ。今回議論した内容を地域の方に戻していきたいと思っている。

#### (2) 「市内の移動を支えるための施策について」

陸前高田市 企画部まちづくり戦略室 室長補佐 佐藤 勝也 氏

現在の市内の公共交通網として、大船渡線BRT、路線バス、乗り合いタクシー、デマンド交通がある。自宅からバス停までも遠くて行けない「ラストワンマイル」をどう解消するかが、公共交通の課題となっている。解消するために、気仙エリアと小友町・広田町エリアで「ドアツードア」が特徴の事前登録・事前予約制デマンド交通を実施している。自宅前や自宅付近まで行くことができるメリットがある。

また、ふるさとタクシー助成を実施している。利用者の障がいのある方への運賃一部助成を拡大し、市内在住の75歳以上の免許返納者も対象にし、助成券1枚につき500円。免許返納者月6枚、障がいのある方月4～6枚交付している。さらに、支え合い交通として、平成27年度に矢作地区「おいでみんなのバス」を実施した。他には、北上市口内地区のボランティア輸送の例もある。石巻市ではコミュニ

ニティ・カーシェアリングを展開している。全国各地で、ラストワンマイル解決のために、住民や団体が自ら移動手段を確保する取り組みを行っている。

幹となる交通を補う手法として、位置づけられているものとして、適切な役割分担を行わなければならない。今後、幹や枝となる交通機関に対して、市役所や交通事業者としては、決め細やかにラストワンマイル解決をして行かなければならないが、公の力だけではなく、持続可能な移動手段を確保するには、民の力も大事である。

### (3) 「矢の浦地区の移動図書館の活用について」

村上 峯子 氏

茨城の神栖町に住んでいた。近くの図書館は、行きやすく、居心地もよかった。新聞、雑誌、ビデオ、CDが多数あり、素晴らしい図書館だった。

陸前高田市の戻り、図書館協議会委員になる。認知症の母の介護をしながら、移動図書に関わる。利用者を増やすために、様々考えてきた。以前は、車があったので、自由に行くことができた。

現在は、運転免許を返納して、自宅から図書館まで行く手段がない。矢の浦は交通が不便。バスの本数も少ない。マイヤのお買い物バスを利用して、図書館に行き、マイヤで買い物をしている。病院への手段は確保してもらっているが、楽しみができるような交通が欲しいと思っていた。

週1回、「生き生き百歳体操」を行っている。体操の後に来てもらうよう、図書館にお願いし、体操に来ている参加者にも声をかけた。人が集まるところ、公民館に移動図書が来れば、雨の日も中で待つことができる。矢の浦だけではなく瀬沢の住民の方も利用できる。本は読むだけではなく、絵や写真をながめるものでもいいからと借りることができるよう登録を勧めた。昨日が2回目で、移動図書にどんな本があるか、興味があるものが何か分からない人がいたが、今後は色々なことを助言できればと思っている。図書館まで行くことができない人のために移動図書は良いと思う。若い人やお年寄り、他の地区でも利用していただければと思う。

### (5) グループワーク（ワールドカフェ形式）

テーマ1「移動について、いま思うこと」

テーマ2「人を元気にする移動とは～上手いこと使う、工夫する～」

### (6) 「移動（外出）が人を元気にする」

陸前高田市ノーマライゼーション大使 岩室 紳也

「要求」だけではなく「自立」へ。

移動手段に使える補助金の一覧を作る。介護予防の発想を変える。「移動（外出）が人を元気にする。移動の目的は、元気になることだったが、目的の前に介護予防が必要である。

★次回（第89回）：平成30年12月14日（金）13：30～15：00

テーマ：「“食”から考えるはまかだ（仮）」

会場：陸前高田市コミュニティホール 大会議室